

# 取扱説明書



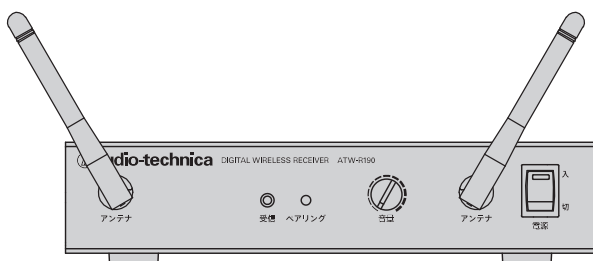
1.9GHz帯

## デジタルワイヤレスレシーバー ATW-R190

お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、  
正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に  
保管しておいてください。

### 同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口までご連絡ください。



- ワイヤレスレシーバー(ATW-R190)
- 専用ACアダプター
- φ6.3mmモノラル標準プラグケーブル(2.2m)
- ペアリング操作ラベル
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

### 別売品

- ・本製品を運用するには、下記別売品の送信機が必要になります。
- ・下記別売品以外の送信機には対応しておりません。
- ・用途に合わせてお買い求めください。

#### 《送信機》

- ワイヤレスマイクロホン(ハンドヘルドタイプ)  
**ATW-T190MIC**
- ワイヤレストランスミッター  
**ATW-T190BP**

#### 《トランスミッター用マイクロホン》

- ヘッドウォーンマイクロホン(ヘッドセットタイプ)  
**PRO8HEW/P**
- ラベリアマイクロホン(クリップタイプ)  
**AT829H/P**

#### 《受信機》

- ワイヤレスアンプシステム(1チャンネルタイプ)  
**ATW-SP1910**
- ワイヤレスアンプシステム  
(1チャンネルタイプ/マイク同梱)  
**ATW-SP1910/MIC**
- ワイヤレスアンプシステム(2チャンネルタイプ)  
**ATW-SP1920**
- ワイヤレスアンプシステム  
(2チャンネルタイプ/マイク同梱)  
**ATW-SP1920/MIC**

### 目次

安全上の注意	2ページ
使用上の注意	3ページ
各部の名称と機能	3ページ
ご使用前の準備	4ページ
接続のしかた	4ページ
ペアリングについて	5~6ページ
使いかた	6ページ
通信距離について	6ページ
ワイヤレスシステムの増設について	7ページ
お手入れについて	7ページ
故障かな?と思ったら	7ページ
外形寸法図	裏表紙
テクニカルデータ	裏表紙

## 安全上の注意

本製品は安全性には十分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

**警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

**注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 本体について

#### 警告

- 付属のACアダプター以外使用しない  
故障、不具合の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない  
異常に気づいたら、お買い上げの販売店が当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの原因になります。
- 水をかけない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 火気に近づけない  
変形、故障の原因になります。
- 布などで覆わない  
過熱による火災やけがの原因になります。

#### 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所、結露する環境に保管しない  
故障、不具合の原因になります。
- 不安定な場所に設置しない  
転倒などにより、けがや故障の原因になります。
- アンテナはゆっくりと立てる  
急に立てると破損したり、けがの原因になります。

### ACアダプターについて

#### 警告

- AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない  
異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする  
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない  
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る  
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない  
変形、故障の原因になります。

#### 注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く  
省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない  
故障や事故の原因になります。
- 通電中のACアダプターに長時間触れない  
低温やけどの原因になることがあります。

### ワイヤレス製品について

- 本製品は(財)テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務大臣の許可なしに改造、または証明ラベルを剥がして使うことはできません。これに違反すると法律により罰せられます。
- 本製品は、1.9GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ使用してください。

- ・本製品は、1,895.616 ~ 1,902.528MHzの帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。  
(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

#### ●本製品の使用周波数に関わるご注意

本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

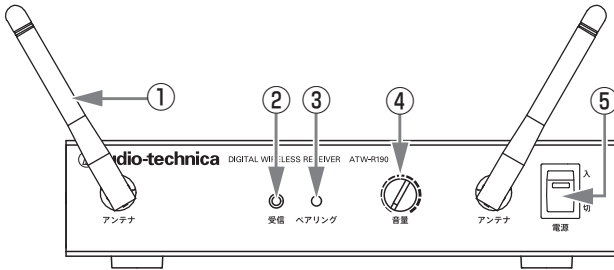
1. 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、当社お客様相談窓口へお問い合わせください。

## 使用上の注意

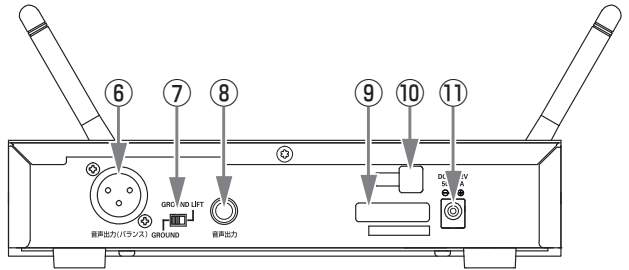
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- 本製品は照明調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器、コードレス電話などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置して使用してください。
- ワイヤレスシステムを複数使用する際、同時に使用できる送信機は最大5台までです。周囲の電波環境によっては同時に使用できる台数が少なくなる場合があります。

## 各部の名称と機能

### 正面



### 背面



#### ①アンテナ

電波を受信します。  
・本体正面の左右2カ所にあります。

#### ②受信インジケーター

送信機との通信状態を表示します。

緑点灯	送信機とペアリング状態
緑点滅	ペアリング待機状態 / ミュート状態
赤点灯	送信機と未通信状態

#### ③ペアリングボタン

本製品と送信機のペアリングをします。

#### ④主音量ボリューム

バランス出力端子と音声出力端子の出力音量を調整します。

#### ⑤電源スイッチ

電源を「入/切」します。電源が入ると緑色に点灯します。

#### ⑥音声出力端子(バランス XLR-M)

別売のバランスケーブル(XLRプラグ)で、アンプやミキサーなどのライン入力、またはマイク入力端子に接続します。

#### ⑦GROUND LIFT スイッチ

音声出力端子(バランス)のGNDピンをGNDより切り離します。  
・通常はGROUND側に設定してください。  
・ほかの機器と接続したとき「ブーン」というノイズが発生したときはGROUND LIFT側に切り替えてください。  
ノイズが取りまります。

#### ⑧音声出力端子 (φ6.3mmモノラル標準ジャック)

付属のφ6.3mmモノラル標準プラグケーブルで、アンプやミキサーなどのライン入力、またはマイク入力端子に接続します。

#### ⑨技術基準適合証明ラベル

電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。このラベルを剥がすことは電波法により禁じられており、罰せられます。

#### ⑩ケーブルフック

本製品に付属のACアダプターを接続する際、ケーブルをフックに巻きつけておくことで、不意にケーブルが引っ張られた場合でもACアダプターが外れにくくなります。

#### ⑪DC入力端子(DC IN 12V)

付属のACアダプターと接続します。

## ご使用前の準備

付属の AC アダプターを DC 入力端子に接続し、AC100V コンセントに接続してください。

## 接続のしかた

アンプ、ミキサーなどの接続機器や、送信機の取扱説明書も併せてお読みください。

本製品と接続機器の電源を切り、音量ボリュームを全て最小にしてから接続してください。

### 1. 本製品と接続機器を接続します。

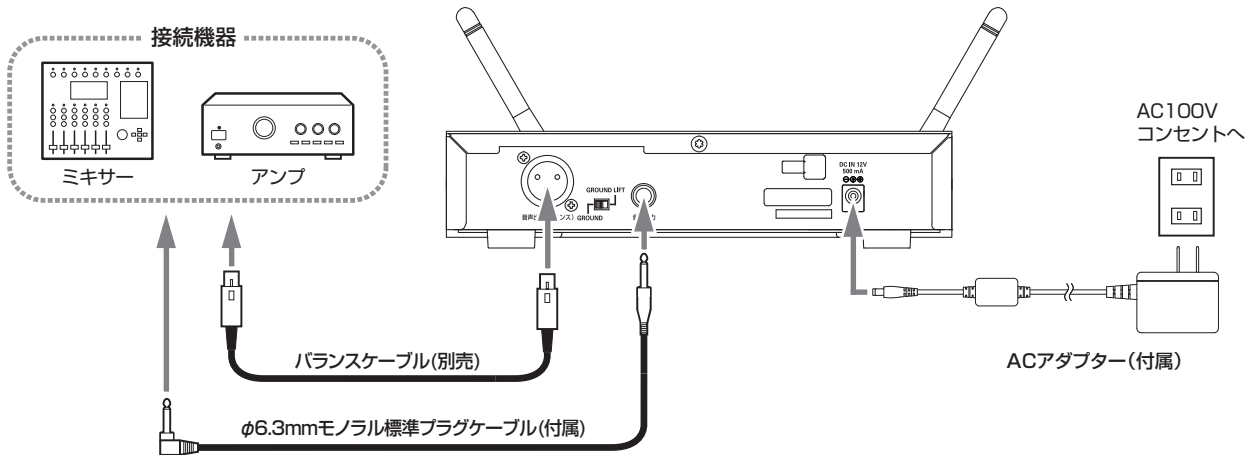
#### ■付属のφ6.3mmモノラル標準プラグケーブルを使用する場合

本製品の音声出力端子(φ6.3mmモノラル標準ジャック)と接続機器の入力端子を接続します。

#### ■市販のバランスケーブルを使用する場合

本製品の音声出力端子(バランス XLR-M)と接続機器の入力端子を接続します。

- ・ミキサーのファンタム電源はオフにしてください。
- ・接続機器の入力ジャックがφ3.5mm ミニモノラルジャック、RCA ジャックなどの場合は、市販のケーブルまたは変換プラグを使用してください。
- ・ノイズが発生した場合は、GROUND LIFT スイッチを GROUND LIFT 側に切り替えてください。



### 2. 本製品と別売の送信機をペアリングします。

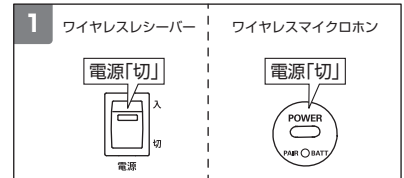
# ペアリングについて

- ・ワイヤレスレシーバーは送信機とのペアリングを行うことにより、送信機の音声を音声出力端子から出力することができます。
- ・ワイヤレスレシーバー 1 台につき、1 台の送信機が接続できます。
- ・送信機を使用する際には、ペアリングを行ってください。
- ・ペアリング後に別の送信機とペアリングする場合は、ペアリング解除を行った後で、改めてペアリングを行ってください。
- ・ペアリングまたはペアリングの解除をする際、ワイヤレスレシーバーと送信機の距離は、3m 以内で行ってください。

## ペアリングを行う

ワイヤレスマイクロホンでの操作を例に説明しています。

1. 本ワイヤレスレシーバーと、ペアリングさせたいワイヤレスマイクロホンの電源を切ります。

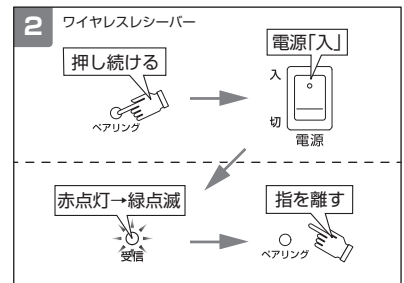


### 《ワイヤレスレシーバーの操作》

2. ペアリングボタンを押しながら、電源を入れます。
  - ・電源を入れたあともペアリングボタンは離さずに押し続けます。

ペアリングボタンを押し続け、約 3 秒経過すると受信インジケータが赤点灯から緑点滅に変わります。赤点灯から緑点滅に変わったらすぐに指を離します。(ペアリング待機状態)

- ・5 秒以上長く押し続けてしまうとペアリングできないことがあります。その場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・ペアリング待機状態で約 10 分経過すると、ワイヤレスレシーバーのペアリング待機状態は解除されます。

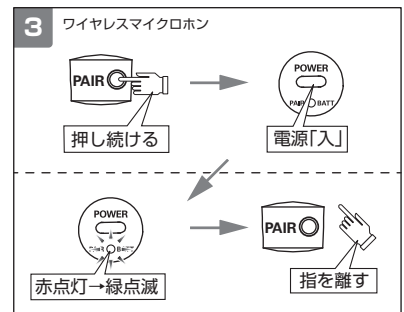


### 《ワイヤレスマイクロホンの操作》

3. グリップを外し、ペアリング / ミュートボタンを押しながら、電源を入れます。
  - ・電源を入れたあともペアリング / ミュートボタンは離さずに押し続けます。

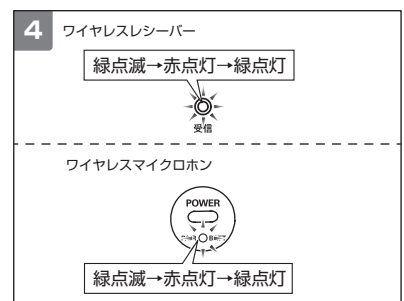
ペアリング / ミュートボタンを押し続け、約 3 秒経過すると電源 / ペアリングインジケータが赤点灯から緑点滅に変わります。赤点灯から緑点滅に変わったらすぐに指を離します。(ペアリング待機状態)

- ・5 秒以上長く押し続けてしまうとペアリングできないことがあります。その場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・ペアリング待機状態で約 2 分経過すると、ワイヤレスマイクロホンのペアリング待機状態は解除されます。
- ・ワイヤレスレシーバー ⇒ ワイヤレスマイクロホンの順にペアリング待機状態にしてください。先にワイヤレスマイクロホンをペアリング待機状態にすると、ペアリングできないことがあります。



4. ペアリングが完了すると、ワイヤレスレシーバーの受信インジケータと、ワイヤレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータが赤点灯に変わったあと、緑点灯に変わります。

- ・ペアリングが完了しなかった場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・一度ペアリングをすると、次回からは自動的にペアリングされます。



## ペアリングの解除

ペアリングの解除はワイヤレスレシーバーでのみ行うことができます。送信機の操作は必要ありません。

1. ペアリングを解除させたいワイヤレスレシーバーとワイヤレスマイクロホンの電源を切ります。

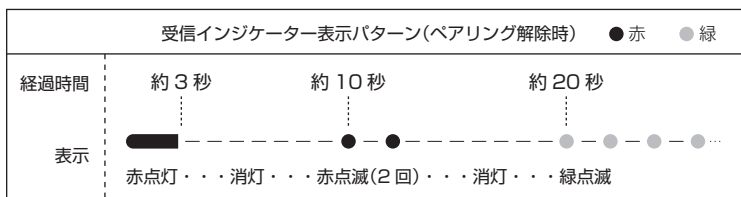
・ワイヤレストランスミッターの場合も、ワイヤレスマイクロホンと同様になります。

### 《ワイヤレスレシーバーの操作》

2. ペアリングボタンを押しながら、電源を入れます。

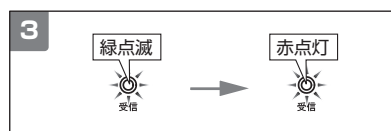
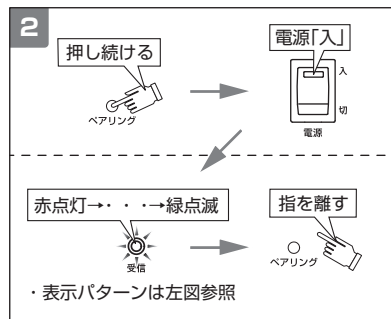
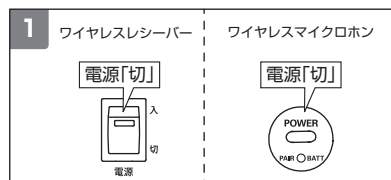
・電源を入れたあともペアリングボタンは離さずに押し続けます。

ペアリングボタンを押し続けると、受信インジケータが下図のように変わります。約 20 秒経過し、受信インジケータが緑点滅に変わったらず指を離します。



3. ペアリングが解除されると、ワイヤレスレシーバーの受信インジケータとワイヤレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータが赤点灯に変わります。

・ペアリングが解除されなかった場合は、もう一度ははじめからやり直してください。



## 使いかた

送信機の取扱説明書も併せてお読みください。

1. アンテナを立てます。

・電波の送受信機能を安定させるため、V字型(約 60 度)にしてください。



2. 本製品と送信機の電源を入れます。

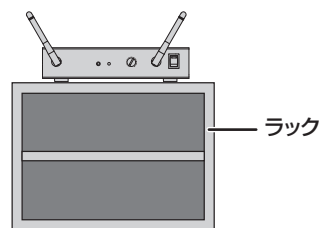
・受信インジケータが緑点灯するまでに約 3 ~ 5 秒\*かかります。

\*使用条件により異なります。

3. 本製品の主音量ボリュームで、音に歪みが出ないように適切な音量にします。

### 設置場所

ラックの上などの、見通しの良い場所に設置してください。



## 通信距離について

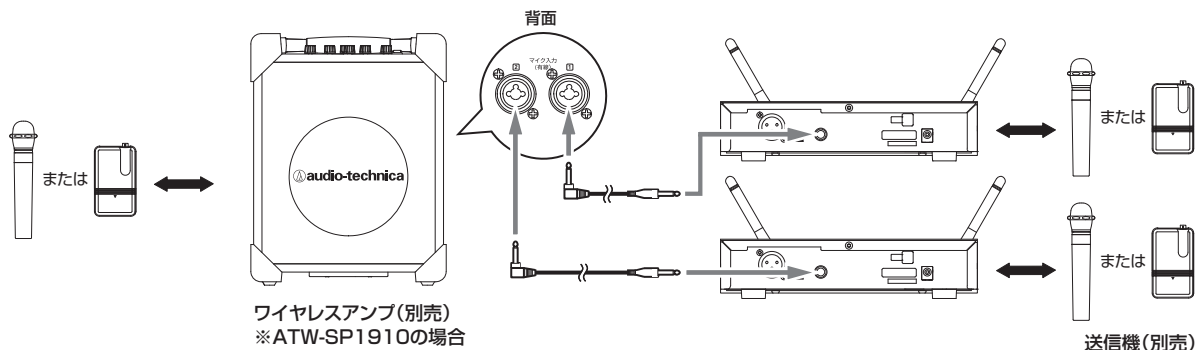
ワイヤレスレシーバーと送信機は約50mの距離まで使用できますが、障害物がある場合や建物の構造、周囲の電波環境などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。

## ワイヤレスシステムの増設について

別売のワイヤレスアンプ(ATW-SP1910またはATW-SP1920)と本製品を接続することにより、同じスピーカーから音声を出力することのできる送信機を増設できます。

増設する際は、本製品の音声出力端子と別売のワイヤレスアンプのマイク入力(有線)端子を接続します。

- ・ワイヤレスアンプの取扱説明書を併せてお読みください。
- ・ワイヤレスアンプは本製品を2台増設することができます。増設によりATW-SP1910は最大3台、ATW-SP1920は最大4台までの送信機を接続できます。



## お手入れについて

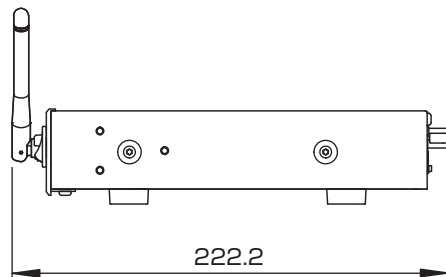
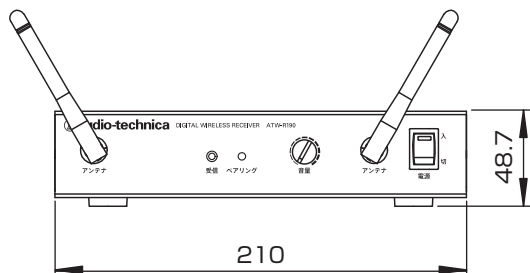
- 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 長い間保存する時には、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

## 故障かな?と思ったら

症状	ご確認ください	対処方法
電源が入らない	ACアダプターがコンセントから外れていませんか?	P.4の「接続のしかた」を参照してください。
音が出ない	本製品または接続機器のボリュームが最小になっていませんか? 本製品または接続機器の電源が「切」になっていませんか? 接続機器のプラグが出力端子から外れていませんか?	P.3の「各部の名称と機能」を参照してください。 P.4の「接続のしかた」を参照してください。 接続機器の取扱説明書を参照してください。
音が歪む	主音量ボリュームが大きくなりすぎていませんか?	P.3の「各部の名称と機能」を参照してください。
受信しない、電波の通信距離が短い	本製品と送信機がペアリングされていますか? アンテナを立てていますか? 見通しの良い場所に設置していますか?	P.5の「ペアリングについて」を参照してください。 P.6の「使いかた」を参照してください。
ノイズが出る	近くに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか? 各ケーブルは確実に機器に接続されていますか?	P.3の「使用上の注意」を参照してください。 P.4の「接続のしかた」を参照してください。

# 外形寸法図

(単位：mm)



## テクニカルデータ

電源 : DC12V(付属のACアダプターを使用)  
消費電力 : 最大1.2W  
無線方式 : 1.9GHz DECT準拠方式  
使用周波数 : 1895.616~1902.528MHz  
周波数特性 : 100~10,000Hz  
歪率 : 2%以下  
S/N比 : 50dB以上  
受信数 : 1チャンネル  
アンテナ : 外部アンテナ(ダイバーシティ)  
通信距離 : 約50m(見通し時、妨害電波がない場合)

出力端子 :  $\phi$ 6.3mmモノラル標準ジャック  
XLRタイプ3Pバランスレセプタクル  
最大出力 : -16dB( $\phi$ 6.3mmモノラル)  
-22dB(XLRタイプ)  
使用温度範囲 : 5~45°C  
外形寸法 : H48.7×W210×D222.2mm  
質量 : 約1.2kg  
付属品 : ACアダプター(AD-SE1205A0A)  
 $\phi$ 6.3mmモノラル標準プラグケーブル(2.2m)

改良などのため予告なく変更することがあります。

### お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

製品の仕様、使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)

FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ(サポート) <https://www.audio-technica.co.jp/support/>

### アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明書や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

<http://www.audio-technica.co.jp>

ver.1 2016.06.15  
232305570-01-04 ver.4 2020.08.01